



【学校教育目標】

よく考え 進んで発表する子
やさしい心で 助け合う子
責任を持って 最後までがんばる子
命を大切に 体を強くたえる子



江別市立中央小学校
学校だより 特別号
令和6年9月25日発行

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします（個人の結果については配付済みです）。学校といたしましては、今後、本調査の教科並びに児童質問紙における調査結果から見て取れる成果や課題について分析し、学習指導等の改善に向け取り組んでまいります。ご家庭におかれましては、家庭学習の一層の充実や生活リズムの改善に向けご指導いただきますようお願いいたします。

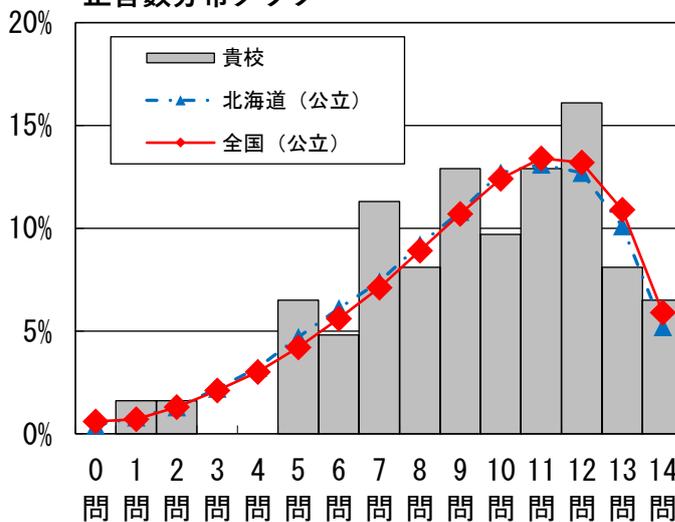
国語

全国の平均正答率と比較して同様の結果でした

【内容別の正答率】

区分	全道比	全国比
言葉の特徴や使い方	やや下回っている	下回っている
情報の扱い方	同様である	同様である
話すこと・聞くこと	上回っている	やや上回っている
書くこと	上回っている	上回っている
読むこと	同様である	同様である

正答数分布グラフ



正答率表記の基準

- 「上回っている」 : +3%以上
- 「やや上回っている」 : +1~+3%未満
- 「同様である」 : ±1%未満
- 「やや下回っている」 : -1~-3%未満
- 「下回っている」 : -3%以上

○正答率の高い問題

- 目的に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えが伝わるように工夫する
- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にする
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する

●正答率の低い問題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う
- 文の中における主語と述語との関係を捉える
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える

○ ○ ○ (条件)
「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
○ 「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

【高山さんの文帯】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良く なります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんのを教えてたり、下級生も楽しめるように、やさしいの作戦を考えたりします。「みんなてつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生 といっしょに応えんして無い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心がつながるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをいけるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

6年生がくふうしていること

- 遊びたいことを下級生に聞く
- ルールをくふうする
- ドッジボール 上級生は遠くからボールをいける

下級生に聞いたこと

- 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
- 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- 4年生 みんなが楽しそうであれしかった

② 正答率の高かった問題

高山さんの学校では、学校のよさを伝える文章を書くことになりました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は、「高山さんのメモ」と「高山さんの考え」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【高山さんのメモ】

これを伝える

- みんな仲良し
- たてわり遊び
- 元気なあいさつ
- ア、地いきでも
- 先生にも
- 登校はんでも
- 運動会
- たてわりはんごとに色を決める
- 楽しい給食
- 学校で育てた野菜が使われることがある
- 伝統
- 卒業生が多い
- 校歌
- 校庭が広い

【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書く。

B 書くこと・記述式問題

※本校の無解答0%

正答率の高かった問題

1 深緑小学校の和田さんの学年では、深緑小学校と学校の取り組みをオンラインでしようかし合おうことになりました。和田さんは、深緑小学校の村木さんという方と合おうとしています。次は、村木さんから事前に「和田さんに届いたメールの内容」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【和田さんに届いたメールの内容】

あて先 △△△@△△△△△.jp
件名 オンライン交流について

深緑小学校 和田 みなみさん

はじめまして。
深緑小学校の村木です。わたしの学校は、全校で105人います。学校の周りには、茶畑が広がっています。
今、わたしががんばろうと思っていることは、図書委員として、本が好きな子を増やすことです。
オンライン交流では、和田さんの学校の図書委員会の取り組みを教えてください。
当日を楽しみにしています。よろしくお願ひします。

深緑小学校 村木 かおる

1 正答 3
(目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるか)

A 話すこと・聞くこと
選択式問題

1 和田さんは、「和田さんに届いたメールの内容」を受けて、しようかし合おう内容を、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【和田さんのメモ】

村木さんが知りたいこと 図書委員会の取り組み ○読書イベント ・月に1回 ・クイズなど	自分が伝えたいこと ○アイデア給食 ・年に2回 ・自分たちが考えたことだて
これは伝えたい	地いきならではの取り組み ○総合的な学習の時間 ・海の生き物の調査 ○すなはまの滑そう活動 ・学期に1回
質問されたら答える	○音楽クラブの演そう会 ・たんだの楽器は木さん ・地いきの行事に参加
用意するもの ・クイズが書かれたカード ・海の生き物の写真	

- 1 おたがいの学校の取り組みのよい点を比べて、伝えることを明確にした。
- 2 おたがいの学校の取り組みの問題点を比べて、伝えることを明確にした。
- 3 相手が知りたいことを取り入れて、優先して伝えることを明確にした。
- 4 自分が知りたいことを取り入れて、優先して聞くことを明確にした。

正答率の低かった問題

三 高山さんは、「高山さんの文章」を読み返し、習っている漢字がはがなになつていった。部ア、イを漢字で、いかに書きましよう。

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

イ 上級生が遠くからボールをなげます。

2 三ア 競技イ投(げる)
(学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるか)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
短答式問題

算数

全国の平均正答率と比較して同様の結果でした

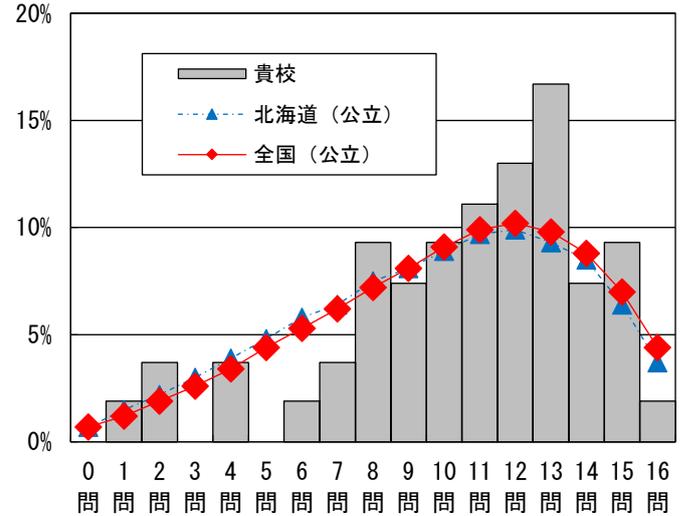
【領域別の正答率】

区分	全道比	全国比
数と計算	やや上回っている	やや下回っている
図形	やや上回っている	同様である
変化と関係	上回っている	やや上回っている
データの活用	やや上回っている	同様である

正答率表記の基準

「上回っている」 : +3%以上
 「やや上回っている」 : +1~+3%未満
 「同様である」 : ±1%未満
 「やや下回っている」 : -1~-3%未満
 「下回っている」 : -3%以上

正答数分布グラフ



○正答率の高い問題

- 速さの意味についての理解
- 問題場面の数量の関係を捉え、式に表す
- 角柱の底面や側面に着目し、5角柱の面の数とその理由を、言葉と数を用いて記述する
- 二次元表を読み取り、必要なデータを分類整理する

●正答率の低い問題

- 数量の関係を、□を用いた式に表す
- 小数で割るわり算で、除数と商の大きさの関係について理解しているか
- 小数で割るわり算の計算
- 速さ、道のり、時間の関係について考察する

正答率の高かった問題

1 (1) ゆうまさんは、折り紙を72枚持っています。
 ゆうまさんが持っている折り紙は、こはるさんが持っている折り紙より28枚少ないです。
 こはるさんが持っている折り紙の枚数を求める式を、下のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

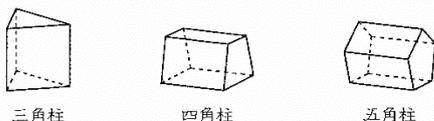
- ア $72 + 28$
- イ $72 - 28$
- ウ 72×28
- エ $72 \div 28$

1 (1) 正答 ア
(問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるか)

A 数と計算・選択式問題

正答率の高かった問題

3 (4) こねさんたちは、角柱の面の数について考えています。



こね 三角柱の面は5つです。三角柱には、底面が2つ、側面が3つあるからです。

はると 四角柱の面は6つです。

ひより 五角柱の面はいくつかな。

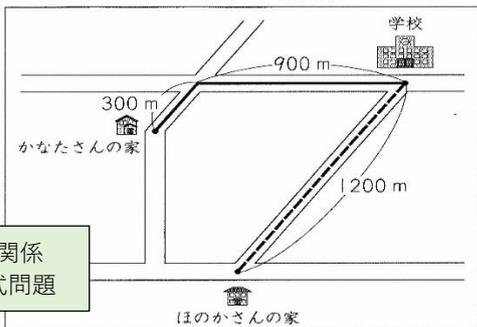
五角柱の面はいくつですか。答えを書きましょう。
また、そのわけを、底面と側面がそれぞれいくつあるのかわかるようにして、言葉と数を使って書きましょう。
そのとき、「底面」、「側面」の2つの言葉を使いましょう。

3 (4) 正答例
五角柱の面 7つ

B 図形・記述式問題

わけ(例)五角柱には、底面が2つ、側面が5つあるからです。
※本校の無解答率 0%

4 (3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。
家から学校までの道のり



C 変化と関係
記述式問題

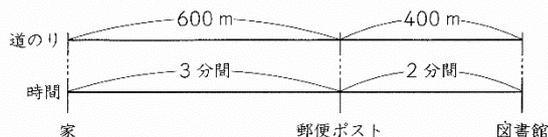
家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。
家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 かなたさん
- 2 ほのかさん

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



C 変化と関係
短答式問題

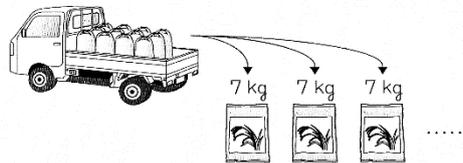
家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。
郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。
家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。
答えを書きましょう。

正答率の低かった問題

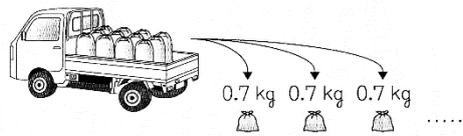
2 (2) あやさんたちは、350kgの米を1人に同じ重さずつ配ると、何人に配ることができるかについて考えています。



1人に7kgずつ配る場合を考えます。
 $350 \div 7 = 50$
50人に配ることができます。



1人に0.7kgずつ配る場合を考えます。
何人に配ることができるのでしょうか。



350kgの米を1人に7kgずつ配る場合と、1人に0.7kgずつ配る場合を比べると、どのようなことがいえますか。

2 (2) 正答 1、3
(小数で割るわり算で、除数と商の大きさの関係について理解しているか)

350kgの米を1人に7kgずつ配ると、50人に配ることができます。

1人に0.7kgずつ配るとき、配ることができる人数は、50人より **1 多い** / **2 少ない** です。

A 数と計算
選択式問題

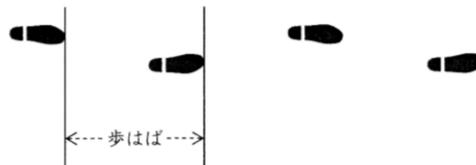
$350 \div 7 = 50$ です。

$350 \div 0.7$ の商は、50より **3 大きい** / **4 小さい** です。

4 あいなさんたちは、時間や速さなどについて考えています。

(1) あいなさんは、家から学校までの歩数を求めます。

家から学校までの道のりは、540mです。あいなさんの歩はばを0.6mとします。



家から学校までの歩数は、 $540 \div 0.6$ の式で求めることができます。
 $540 \div 0.6$ を計算しましょう。

A 数と計算
短答式問題

4 (1) 正答 900
(小数で割るわり算の計算ができるか)

4 (3) 正答 1

わけ(例)かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900+300=1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mと同じです。かかった時間は、かなたさんの方が短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんの方が速いです。

※本校の無解答率 0%

(4) 正答 (分速) 200m
(速さの意味について理解しているか)

児童質問紙から見受けられる傾向

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合

- ・ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある
全国比 +6.7%
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれている
全国比 +5.1%
- ・ 平日、1時間以上、家庭学習をしている
全国比 +23.8%
- ・ タブレットなどの ICT 機器を使うと、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる
全国比 +12.9%
- ・ 自分と違う意見について考えるのは楽しい
全国比 +4.2%
- ・ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている
全国比 +3.7%

- ・ 朝食を毎日食べている
全国比 -21.7%
- ・ 毎日、同じくらいの時刻に起きている
全国比 -6.1%
- ・ 1日あたりの SNS、動画視聴時間が2時間以上
全国比 +16.2%
- ・ 学校が休みの日、1時間以上、勉強をしている
全国比 -6.9%
- ・ 英語の勉強は好き
全国比 -19.3%



- ・ 学校生活への満足度が高く、明るく前向きな気持ちで活動している児童が多い。
- ・ 平日の家庭学習の習慣化が図られている。(6年生は70分以上が目標)
- ・ ICTを使用した学習が定着し、特に個別に学ぶ場面で活動への意欲が高い。
- ・ 授業では、他者と関わりながら学びを深める学習スタイルが定着している。

- ・ 起床時刻が定まらず、朝食を抜いている児童がいる。
- ・ 学校から帰宅後の SNS、動画視聴時間が長い(4時間以上の児童が2割弱)
- ・ 休日(土日)の学習時間が、平日に比べ少ない。
- ・ 学習の必要性は感じていても、学ぶ意欲(楽しさ)につなげていない。
*96.6%の児童は英語の勉強が大切だと思っている

中央小学校の今後の取組

中央小学校では、全国学力・学習状況調査の結果をはじめ、日常の学習や生活から見て取れる課題について全教職員で共有し、改善に向け取組を進めます。また、中央中学校区で目指す子ども像「夢(目標)を持ち、粘り強くたくましく、学びあい高めあう子どもたち」のもと、中学校区で連携した教育を進めます。

◆授業での「対話」を一層充実させ、学ぶ楽しさと、より深い学びの実現に向けた授業改革に取り組みます。

- ①伝え合う力(対話力)の向上と協働的な学びの充実
- ②ICTの有効活用等による、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ③習熟度別・少人数指導による、個に応じたきめ細かな指導の充実
- ④児童の実態に即した到達目標の設定と指導計画の立案、実施、評価による授業改善サイクルの確立
- ⑤家庭学習の質と量の充実を図る取組の推進(学習内容の定着と児童同士の高め合い)

◆家庭と連携し、生活・学習習慣の改善に努めます。

- ①生活規律・学習規律の徹底
- ②生活リズムチェック等を活用した生活指導の取組と家庭への情報提供
- ③二者懇談等の機会を活用した家庭との情報共有と連携した指導

間もなく、前期のあゆみ(通知表)を渡します。ご家庭でも、お子さんの学習状況を把握し、家庭学習等へのご指導をお願いします。